

独立行政法人日本スポーツ振興センター



国立競技場

NATIONAL STADIUM

- 年頭のあいさつ～災い転じて福としたい、この1年～
- 国立競技場ロゴタイプ決定!!
- スポーツ基本法の施行について
- ラグビーワールドカップ2011視察報告
- 第8回スポーツターフ維持管理研修会報告
- 国立競技場ファンランDAY 2011～走食体感～ The road to LONDON!
- 「スポーツ祭り2011」開催される
- 2012年 ロンドンオリンピック通信
- 国立スポーツ科学センター設立10周年式典を開催しました



厳冬期の劔岳山頂より北アルプスの眺望

年頭のあいさつ

「災い転じて福としたい、この1年」



国立競技場長
大和 一光

新年あけましておめでとございます。

昨年は、あいにく災害の多い暗く厳しい年となりました。東日本大震災については、その後、被災地の方々の粘り強い御努力により、産業や市民生活は徐々に復興・安定の道が開け、明るい話題も多く目につくようになりましたが、原発、除染対策については先が見えませんが、経済面でも歴史始まって以来の円高が進み、追い打ちをかけるようにタイの洪水による工場等の機能マヒで、輸出企業は大きな打撃を受けました。

国立競技場においても、施設の損傷、余震、計画停電、原発などの影響や主催団体の判断により、3月末に予定していた国際サッカー、代々木競技場でのフィギュア世界選手権などビッグゲームが相次いで中止となり、選手、ファンの皆様の気持ちは察するに余りあるものとなっております。

まいりました。その後も本格的な事業再開までには多くの課題があり、利用者の皆様にご迷惑をおかけしたことを、紙面を借りてお詫び申し上げます。

一方で、スポーツ界においては、明るい話題がたくさんあった年でした。

何といても、「なでしこ」の女子サッカーワールドカップ優勝は「あきらめない日本」の象徴であり、重苦しい空気が漂っていた日本を元気にしてくれました。また、柔道、レスリング、バレーボール、フィギュアなど、引き続き女子選手の活躍が目立った年でありました。

中高年者のスポーツ活動は、山や海に拡大し、若い世代においては女性を中心にランニング熱がさらに高まり、国立競技場においても夜を徹してトラックや回廊を走るナイトランなど多くのランニングイベントが開催されました。

また、「スポーツ基本法」が、8月に施行されました。前文に、「スポーツは、世界共通の人類の文化である。…スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、すべての人々の権利…」と謳い、本則には、「スポーツの基本理念を定め、スポーツ立国の実現を目指し、国家戦略と

して、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進することを明記しています。50年間のゆがみを修正し、未来に向かっての我が国のスポーツの指針を示したこの「新法」は、スポーツ界が待ち望んでいたもので、その具体的な取り組みについては、今年度末までに策定される予定の「スポーツ基本計画」に期待したいと思います。

特に、スポーツ振興を生業としている私共としては、国民の「スポーツ権」の設定により大きな義務を負ったこととなりますが、反面、義務を履行するためのよりどころを手に入れたことにもなります。

この「新法」に基づき、本法人が取り組むべき課題は山積しています。その中で国立競技場が喫緊に手がなければならないのは、その整備でしょう。

建設から53年が経過し、老朽化が進んでいます。幸い、あの東日本大震災が発生した時は、国の御理解の下に予算措置を受けて実施していた緊急の安全対策工事がほぼ終了しつつある段階で事なきを得ました。しかし、利用団体からは、ホスピタリティ、メディア対応機能、利用者サービスヤードの不足等で超国際レベルの競技会を開催するには困難が伴うといわれています。一方で、ラグビーワールドカップ2019日本大会成功議員連盟は、昨年2月の総会において「8万人規模のスタジアム」を

決議しており、さらに、2020年東京五輪招致に向けての期待があります。

国立競技場の整備は、「新法」にある国際競技大会の招致・開催においては極めて重要な要素であり、都心でありJR2駅、地下鉄2駅からいずれも徒歩10分以内でアクセスできる環境は類がなく、社会資本の整備充実として理解していただくことができれば幸いです。

さて、今年待ちに待った五輪年です。7月27日から開催されるロンドン五輪は、4年間の競技スポーツ界の集大成であると同時に、来年9月のIOC総会での「2020年東京五輪招致」の決定に向けて弾みとなる国民の夢と感動を呼ぶ結果を残すことができるか、正念場ともなります。かたずを飲んでの観戦となりましょう。

おかげさまで、otto、BIGの販売は、震災や経済の不調にもかかわらず目標を達成した模様です。その助成は、引き続き我が国のスポーツ振興のお役に立ち、未来を育てるスポーツの原動力となることを期待されます。

いずれにしても、この一年が我が国のスポーツ界において、「新法」の下に、新しい第一歩となるように期待し、昨年の災いを転じて福となせるような明るい年にしたいと思います。

国立競技場 ロゴタイプ決定!!

独立行政法人日本スポーツ振興センターは、管理・運営する国立競技場のロゴタイプを決定しましたので、お知らせします。

ロゴタイプは、カラーに「ゴールド」を採用し、国立競技場がオリンピック会場であったことやスポーツ競技における挑戦と、それにかける情熱・エネルギーを表現しています。また、国際的な運用が見込まれる欧文については、国際舞台に向けたジャパンを強調するワンポイントの「赤」をレイアウトしています。

シャープでエネルギーに射したラインは、国立競技場から未来へ向けて発せられるエネルギーの閃光であり、また、新たな時代の幕開けを告げる、人々が見上げる御来光です。これは、スポーツ競技における肉体的な部分での進化と、人が集い文化的な発展を遂げて行く様子を表現しています。

現在を軸足にして未来に視点を向けた、希望のある、力が湧いてくるようなイメージを伝えます。

今後は国内のみならず海外の方々を含め、幅広く、国立競技場を周知・アピールする手段として、あらゆるコミュニケーションの場で、このロゴタイプを活用・展開してまいります。

●和文

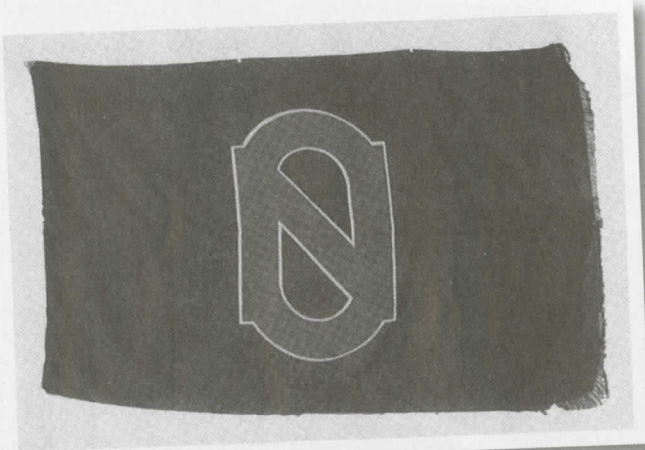
国立競技場

●欧文

NATIONAL STADIUM

国立競技場

NATIONAL STADIUM



設立間もない昭和34年には国立競技場マークが作られた

スポーツ基本法の施行について

◆「スポーツ基本法」成立

昭和36年に制定されたスポーツ振興法は、我が国のスポーツの発展に大きく貢献してきました。

制定から50年が経過し、スポーツは広く国民に浸透し、スポーツを行う目的が多様化するとともに、地域におけるスポーツクラブの成長やプロスポーツの発展、スポーツによる国際交流の活発化など、スポーツをめぐる状況は大きく変化しています。こうした状況を踏まえ、スポーツの推進のための基本的な法律として、議員立法により「スポーツ基本法」が成立したのです。

◆「スポーツ基本法」の概要

スポーツ基本法（平成23年法律第78号）は、平成23年6月24日に公布され、平成23年8月24日に施行されました。

この法律は、スポーツに関し、基本理念を定め、国や地方公共団体の責務・スポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めることにより、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成等に寄与することを目的としています。

スポーツ基本法の概要は次のとおりです。

1. 前文

「スポーツは、世界共通の人類の文化である」

スポーツ基本法の前文は、この言葉から始まります。前文では、スポーツの価値や意義、スポーツの果たす役割の重要性が示されています。

2. 総則ほか

前文に続く本則は、次のような構成になっています。

- 第1章 総則
- 第2章 スポーツ基本計画等
- 第3章 基本的施策
- 第4章 スポーツの推進に係る体制の整備
- 第5章 国の補助等

スポーツ関係者の連携と協働の推進や、スポーツ基本計画の策定、これまでの体育指導委員に代わるスポーツ推進委員の設置など、新たな時代のスポーツの推進に向けた様々な施策について示されています。

◆NASSHの果たす役割

日本スポーツ振興センターは、このスポーツ基本法の目指す姿の実現に向けて、これまで以上に重要な役割を担うことが求められています。

平成22年8月に文部科学省が策定した「スポーツ立国戦略」と現在準備が進められている「スポーツ基本計画」を踏まえ、主体的な役割を果たしていかなければなりません。

ラグビーワールドカップ 2011視察報告

～施設面へのアプローチ～

国立競技場施設管理課



メインスタンドからグラウンド全体の眺め

去る2011年10月8日～23日まで、ラグビーワールドカップ（以下「RWC」という。）2011決勝トーナメントが行われ、開催国ニュージーランドの24年ぶりの優勝で幕を閉じました。一方、日本としては2019年に開催が決定しているRWC日本大会に向けて、本大会のノウハウを活かさなければなりません。本稿では、施設・設備の機能を中心に、メイン会場であるイーデンパークスタジアムについて写真と共に視察内容を紹介いたします。

イーデンパークは1987年第1回RWCの会場であり、24年の歳月を経て、今大会で再び使用されることとなりました。RWCの開催に当たり、その構造体を一部残し、既存躯体から薄膜構造の外壁を持ち出す改修を行い、仮設スタンド1万席を含めた6万人収容のスタジアムに生まれ変わりました。

メイン・バックスタンドの上部に屋根がかかり、仮設スタンドは屋根がありません。ラグビー専用スタジアムだけあり、下段はほぼプレーヤーと同じ目線です。9月上旬から毎週末使用されてきたため、芝への負担が心配されましたが、遠目にはよい状態を保っています。

右下の写真は仮設スタンドを撮影したものです。単管パイプとメッシュシートによる設えで、まさに「仮設スタンド」といった印象ですが、大会後の施設運営を考えた対策と言



仮設スタンド

えます。身障者席の間には、介添者が座る固定席も設けられています。なお、見学参加者が首から提げているIDはRWC運営のために開発された入退出管理システムにより発行され、延べ4万人が登録されています。また、スタジアム1階は全周を車で回れるようになっており、選手は大型バスから直接控室にアプローチすることができます。

次ページの写真は、敷地内のパビリオン内部です。近年のRWCでは興行的に成功しており、以前にも増して「ホスピタリティ（おもてなし）」が求められています。RWCの歴史を語るエントランスを通ると、200人収容可能なレストランが4か所現れます。この空間は、（選ばれた）お客様と直接触れる部分であり、スタジ

アム各所サインなどと共に、ニュー
 ジーランド国内の著名なデザイナー
 と協同で計画したとのこと。こ
 の他に、メインスタンドにはフロア
 全体に及ぶVIPラウンジがあり、
 その上階には国立競技場というこ

ろの「スカイラウンジ」のような、
 スポンサーのための部屋が約80室用
 意されています。
 メインカメラが設置された撮影室
 は、ガラスパーテーションを全開に
 できるようになっています。屋根に



撮影室の様子



雰囲気のあるバビリオン内部

はカメラ用クレーンが4基設置さ
 れ、カメラを自在にコントロールす
 ることにより、迫力のある映像を撮
 影できます。各国のメディア控室に
 隣接して、記者会見場も備えていま
 す。

このように、RWCほどのビッグ
 ゲームのメインスタジアムになる
 と、放送施設（スタジアム内スタジ
 オ・中継ブース）や設備について、
 スタジアムの設計段階から念頭に置
 いた平面計画が求められます。
 また、スタジアムの外周には、ス
 ポンサー特設ブースが数多く設置さ
 れ、試合前にイベントが開催される
 など、利用者の満足度を向上させて
 います。

スタジアム以外にも、オーシャン
 フロントの、ファンゾーンといっ
 たホスピタリティ施設が点在し、そ
 のようなエリアは日本大会でも必須
 であるでしょう。国土が狭く密集し
 た日本では、単にスタジアムだけの
 対応ではなく、国や自治体の協力も
 必要になります。

大会運営・施設整備等において、
 2019年日本大会に期待されてい
 るものについて、本大会の視察を踏
 まえて引き続き考察し、準備を進め
 なければならぬと考えています。
 あのRWCの熱気と、世界中から観
 客が日本に来る、その現場が国立競
 技場であることを願って、新しい競
 技場を考えていく糧にしなければな
 りません。

また、スタジアムの外周には、ス
 ポンサー特設ブースが数多く設置さ
 れ、試合前にイベントが開催される
 など、利用者の満足度を向上させて
 います。



利用で溢れかえるスポンサー特設ブース



広々とした記者会見場

第8回スポーツターフ維持管理研修会報告

In 国立スポーツ科学センター・西が丘サッカー場

国立競技場では10月25日に、平成23年度第8回スポーツターフ維持管理研修会を、国立スポーツ科学センター（以下「JISS」という）・西が丘サッカー場にて開催しました。例年、芝生の更新作業が落ち着いた6月頃に開催していますが、今年度は3月の東日本大震災の関係で10月の開催となりました。

この研修会は、スポーツターフ調査研究事業の一環として関東近県のスタジアムを対象に、スポーツターフ管理者の育成及び資質向上を図ることを目的とし、今年度は14施設、29名の参加を得て行われました。

ディスカッション

【テーマⅠ】

「芝生維持管理に関する問題点」

各県の環境や利用状況の違いにより、芝生の生育状況は大きく異なります。そこで、各スタジアムの芝生維持管理方法の事例を挙げていただき、環境に合わせた草種の選定や養生期間の設定など、問題解決のために工夫して得た情報の交換が行われました。

夏は35度を超え、冬は氷点下14度まで気温が下がるような、寒暖の差が激しい中で管理しており、毎年変わる気候の変化に対応できるように、実験的に様々な草種を育成し、その年にあった芝生を育てるなど、各スタジアムで試行錯誤している点を挙げていただき議論が展開されま



ディスカッションの様子

した。

【テーマⅡ】

「スポーツ競技及びイベント利用における問題点」

サッカー・ラグビー・陸上競技会開催における、各スタジアムの課題について意見交換を行いました。

参加施設の多くは指定管理者として芝生管理に携わっている方で、サッカーや陸上のみならず、野球場や多目的広場など複数の会場を管理しているため、芝生の管理時間の調整が一番の課題となっているようです。参加者の中には、年間の試合数が多い時で300試合を超える、非常にタイトなスケジュールの中で管理を行っているなど、各スタジアムにおける課題が多く挙げられました。その中でも、人数を増やせない代わり、機械を増やし、また性能を充実

化することで、管理時間を短縮する努力をするなど、スタジアムの事例も挙げられ、活発な議論が展開されました。

【施設見学】

ディスカッション終了後は、会場となったJISS・西が丘サッカー場の施設見学を行いました。

サッカー場のグラウンドでは、大会利用で傷んでいる箇所など、芝生の状態を熱心に確認する姿が見られました。

その後、JISSへ移動し、シンクロナイズドスイミングプールやボート・カヌー実験場などを見学しました。普段立入ることの出来ない施設とあって、良い刺激と違ったとの意見を聞くことができました。

今回の研修会は、以前から参加者の要望が多かったディスカッション形式で行いました。

日頃抱えている課題や問題などを各スタジアムで共有することで、維持管理に関するヒントや解決策が見えてくることもあり、各スタジアムの管理状況や運営方法などを知る良いきっかけとなり、参加者からはとても有意義な時間となったとの意見を聞くことができました。

今後も研修会を通し、各スタジアムの情報交換の場となるよう努めたいと思います。



屋上から施設全体の説明を受ける



芝生の状態を確認する参加者

国立競技場ファンランDAY 2011

～走食体感～ The road to LONDON!



11月3日（木祝）に国立競技場主催のランニングイベント『国立競技場ファンランDAY2011～走食体感～The road to LONDON!』が、日刊スポーツ新聞社との共催及びヴァージンアトランティック航空、城西大学男子駅伝部等の協力のもと開催され、大盛況のうちに終了しました。

◆ イベントの概要

3回目の開催となる今回は、ランニングの正しい知識やフォームを身に付け、楽しく長くランニングを続けていただくことに加え、食も楽しんでいただくためのイベント「ランフードスタジアム」も合わせて開催しました。

また、参加者の中から2名様に今年の4月に行われるロンドンマラソンの参加権（ペア往復航空券付き）の豪華賞品も用意されました。

◆ 豪華ゲスト

イベント進行は落語家の立川志ららさん、ラジオ等で活躍中のDJ TAROさんが務め、タレントの松村邦洋さん、森下千里さん、城西大学男子駅伝部監督の櫛部静二さんら多くのゲストの方にお越しいただきました。

◆ ランニングプログラム

国立競技場トラック（国立競技場コンコース）神宮外苑外周の3kmの



ランニングプログラム風景

周回コースを設定し、5分/km・6分/km・7分/kmのペースメーカーを配置し、1時間ランニングを実施しました。

◆ クリニックプログラム

参加者の皆さんを「速く!」走るため・「長く!」走るため・「健康的に!」走るため・「女性限定美脚スペシャルプログラム」の4つのグループに分け、クリニックプログラムを実施しました。

◆ ランフードスタジアム

初の試みとして、ランニングのためになるパスタやスープ、イベントタイトルにちなんだイギリス料理、芸能人カレールー部から「森下千里のちよっと贅沢なカレールー」・「石田純一のヨーロッパアンカレールー」等の出店がありました。また、ゲストによるランニングに



ランフードスタジアムトークショー

まつわるトークや、城西大学男子駅伝部監督の櫛部静二さんらによるレース前の食事メニュー等についてのトークショーも行われ、盛り上がりました。

◆ 終わりに

ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様のおかげをもちまして、無事にイベントを終えることができました。これからも国立競技場として何ができるのかを考えながら、スタッフ一同日々の業務に臨みたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。

「スポーツ祭り2011」 開催される

アニマル浜口さん・浜口京子選手による聖火トーチ



恒例行事となっている「体育の日」中央記念行事「スポーツ祭り2011」が、国立スポーツ科学センター（JISS）及び味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC）と赤羽スポーツの森公園競技場において10月10日（月祝）に開催されました。

前日の雨で天候が心配されましたが、開催時間が近づくにつれ、天候が回復し、スポーツ日和となりました。

西が丘サッカー場では、城井崇（きい・たかし）文部科学大臣政務官の「選手と一緒にスポーツの楽しさや喜びを十二分に味わってほしい。」という力強い開会宣言から、オリンピックによる主催団体旗の入場、アニマル浜口さん・浜口京子選手親子による「スポーツ祭りの火」の点火が行われました。

トーチの火がなかなかつかない、というアクシデントもありましたが、アニマル浜口さんの「気合い投入」により無事点火されました。

また、開会式では全国から選ばれた子供たちの体力向上啓発「ポスター」「標語」の表彰式も行われました。

その後は、JISSトレーニング体育館指導員による10分間オリジナル準備体操で、しつ



チームワークは最高！

かり体をほぐし、それぞれ午前部のイベントに参加されました。

サッカー場では、約500人がオリンピックと二階に5班に分かれ、大玉ころがし、台風の目、シッポ取りなどのゲームによる「オリンピックふれあい大運動会」が行われ、また陸上トレーニング場では約2,000人が周辺道路約1.8キロを走る「ふれあいジョギング」が行われました。

午後は、各競技団体主催のスポーツ教室が開かれ、一流アスリートによる丁寧な説明や指導に子供たちは目をキラキラさせながら真剣にそして、家族で楽しそうに参加されました。

企画のひとつとして開放した7階レストランは、普段入ることのできない食堂です。「親子でアスリート食体験」では、選手と触れ合いながら、「体のためにバランスよく食べることの大切さがわかった」など子



筑井利江選手（ホッケー）・鈴木寛選手（ボブスレー）との楽しい食事

供たちからの意見をいただきました。また、今回は東日本大震災で被災された方々に何かできないかと、例年のイベントのほかに、「復興支援ストリート」と「福島キッズスポーツ祭りツアー」を企画しました。

「復興支援ストリート」では、憩いの広場での東北物産展、復興写真展、オリンピックチャリティー活動を行い、「福島キッズスポーツ祭りツアー」は、福島原発事故の影響で、屋外活動を制限されている地域スポーツ少年団を招待して、スポーツを通じた復興支援を目的に各種イベントに参加していただきました。

後日、福島から参加されたスポーツ少年団の保護者の方からも「久しぶりに子供たちの屈託のない笑顔を見た。」「アスリートに指導してもらい、感激した。」といったお手紙をいただきました。

当日の各種イベントに多くの方が



「福島キッズスポーツ祭りツアー」5台のバスで参加

参加され、総入場者数は延べ13,090人となり、目標の10,000人を上回る事ができました。

復興支援ストリートで、大活躍した着ぐるみの中の方が転んで怪我されたことや、頑張りすぎたお父さんが気分を悪くされるなどのアクシデントもありましたが、大きな事故もなく、無事に終了できました。

さまざまな世代の方々がスポーツに親しみ、心地よい疲れを感じながら一日を過ごされたことと思います。また、今日のオリンピックとのふれあいが明日のアスリートへの芽生えとなることを願っています。

最後になりますが、ご協力いただいた関係団体の皆様に御礼申し上げます。

2012年 ロンドンオリンピック通信

NAASH ロンドン事務所

1. はじめに

ロンドンオリンピックでは、マラソンを始めとした長距離競技も行われます。それらの競技では、ロンドンの名所を巡るようにコースが工夫されています。

2. マラソン競技

マラソンコースの決定までに紆余曲折がありました。当初は、東ロンドンにあるメイン会場をゴールとしたコースが検討されましたが、最終的には、観光と政治の名所が数多く集まるロンドン中心地の周回コースに決定しました。

バックingham宮殿とトラファルガー広場を結ぶ道路・The Mallをスタートし、ロンドン市内の名所を巡り、周回を終え、The Mallにゴールが設置されます。

ロンドン五輪組織委員会によると、コースをサーキット型にするこ



The Mall
(マラソン競技のスタートとゴール地点)



ロンドンのシンボル：ビッグベン

減と、観戦客が世界のトップランナー80名の走りを数多く見られるように配慮し、このコースとしたようです。日本選手のメダルが期待できる女子マラソンは日本のゴールデンタイムに放映される予定です。

バックingham宮殿、ビックベン、セントポール大聖堂、タワーブリッジなどロンドンのシンボリック建造物が連なるロンドンの美しい景色の中を颯爽と走る日本人ランナーを是非応援しましょう。

3. トライアスロン競技

ロンドンにある都市型巨大公園として知られるハイドパーク。ロンドンの王立公園の中で最も広く、その面積は14km²で日比谷公園の約9倍です。

トライアスロン競技は、このハイドパークで行われます。トライアスロン競技は、スイム・1.5km、バイク



トライアスロンの様子
(2010トライアスロン世界選手権/ロンドン)

(自転車)・4.3km、ラン・10kmで争われ、ハイドパークの中央部にあるサーベントイン湖でスイムが行われます。その後、バイク(自転車)でハイドパーク内とバックingham宮殿を周回するコースを7周し、最後はサーベントイン湖の回りを走り3周しゴールです。

トライアスロン強国である英国は男女で今シーズンの世界ランキング1位の選手を擁し、人気も絶大です。

4. 自転車(ロード)競技

自転車(ロード)競技も、マラソン競技同様にThe Mallがスタートとゴールになります。ロンドンから南西に進路を取り、英国有数の宮殿であるハンプトンコートの前を通りま

す。その後、周回コースを走り終えたのち、ロンドン中心地を目指します。男子が250km、女子が140kmを競います。開会式直後の週末に行われる(今

年7月28日(土)に男子、29日(日)に女子が開催)この競技は、オリンピック序盤を大きく盛り上げるでしょう。

5. トピック

五輪パークに隣接するショッピングセンターオープン

昨年9月13日、五輪パークの隣に大型ショッピングセンターとして、ウェストフィールド・ストラトフォードシティがオープンしました。都市型ショッピングセンターとしてはヨーロッパ最大で、最寄駅であるストラトフォード駅から五輪メイン会場や競泳会場等への通り道に建設され、何万人もの観光客の利用が見込まれています。

ショッピングセンター内のデパートの一部には、五輪パークの展示スペースが設けられ、刻々と変化する様子を眺めることができます。



ショッピングセンターの入口



国立スポーツ科学センター 設立10周年式典を開催しました

2011年10月20日（木）国立スポーツ科学センター（JISS）にて、JISS設立10周年記念式典及び懇親の夕べを開催いたしました。2001年10月の開所から今年で10年となるJISSは、設置が決定し建設、開所に至るまでの道のりは紆余曲折の歴史がありました。

◆設立以前・開所後10年の歴史

JISSの設立構想は1972年に文部省（現・文部科学省）保健体育審議会の「体育・スポーツの普及振興に関する基本方策について」の答申において、「体育・スポーツに関する独立した研究機関の設置」が提言されたことにはじまります。

1987年臨時教育審議会第三次答申で「国立のスポーツ医・科学研究所の設置」、1988年内閣総理大臣の私的諮問機関「スポーツの振興に関する懇談会」で「国立のスポーツ研究センターの設置」が提言されたのを受け、同年、文部省に「国立総合体育研究研修センター（仮称）設置準備調査協力者会議」が設置されました。翌1989年、保健体育審議会にて「国立スポーツ科学センター（仮称）」設置計画推進の提言が出されたことを受け、スポーツ界からもセンターの早期完成を要望する気運が高まりました。設置場所については、当初は1980年に、旧東京教育大学跡地（渋谷区西原）を建設用地とすることとなっていまし

たが、1990年に、名称を「国立スポーツ科学センター」として、日本体育・学校健康センター（現・日本スポーツ振興センター）が保有する北区西が丘競技場の敷地内に建設することが正式に決定されました。1991年に日本体育・学校健康センターに「国立スポーツ科学センター設置準備室」が設置され、1993年実施設計が完了し、着工を待つばかりとなりました。

しかしながら、1998年に開催する長野オリンピックの関連予算を優先することとなり、1997年に建築予算が措置され、4年計画で建築が進められることになりました。

第一期工事として西が丘競技場本館（事務棟）の解体工事が1998年3月から始まり、同年7月に解体完了。第二期工事（本館建設工事）は1998年9月末からはじまり、2001年2月に竣工しました。

2001年10月開所から現在まで、オリンピックについては、夏季開催はアテネ（2004）、北京（2008）を2度、冬季開催はソルトレイクシティ（2002）、トリノ（2006）、バンクーバー（2010）の3度、計5度のオリンピックを経験しました。特に、2004年のアテネオリンピックでは、金16、銀9、銅12の計37個となる史上最多のメダルを獲得したことは、JISS関係者のみならず、あらゆるスポーツ関係者の励みになっ

たことは言うまでもありません。

◆設立10周年式典を開催

さて、JISS設立10周年記念式典は、研究体育館にて行われた第8回JISSスポーツ科学会議の後に開催いたしました。御来賓として、中川正春文部科学大臣、河村建夫スポーツ議員連盟副会長、福田富昭公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）副会長、国会議員22名にご出席を賜り、また数多くのスポーツ関係者にご出席いただきました。開会に際し、JISS設立10周年を記念して、10年間の歩みをイメージした映像を放映いたしました。国歌斉唱に続き、河野一郎理事長のあいさつがあり、祝辞を中川正春文部



ご祝辞：中川正春文部科学大臣 式典開会あいさつ：河野一郎理事長



懇親の夕べ：岩上センター長あいさつ

科学大臣、河村建夫スポーツ議員連盟副会長、福田富昭JOC副会長よりいただきました。

また、式典当日は第179回国会初日となりましたが、多くの国会議員の皆様、文部科学省関係者の皆様にご出席いただくことができましたことは、設立10年に際し、JISSへの関心や期待が高いことを表していると云えます。

式典の後半では、10年間の歩みにおいて、JISSに貢献されました個人及び団体に感謝楯の贈呈式を行

いました。個人では、浅見俊雄初代JISSセンター長に贈呈いたしました。団体については、永年、スポーツ医学発展のための助成を賜りました公益財団法人ミズノスポーツ振興財団、選手が安心して利用できる環境の提供、施設管理に貢献された株式会社協栄、安全安心な食事の提供に従事し選手の栄養管理に貢献されましたシタックスフードサービス株式会社の計3団体に、感謝楯の贈呈をいたしました。

◆懇親の夕べを開催

式典に続き、場所を陸上競技実験場に移し、懇親の夕べを行いました。雰囲気づくりのひとつとして、会の司会を、北京オリンピック競泳男子100m背泳ぎ決勝8位入賞、北京オリンピック競泳男子400mメドレーリレーで、北島康介選手らと共に銅メダルを獲得した宮下純一氏にお願いしました。宮下氏は引退された後も、キャスターとして活躍されており、華やかな会の進行にご協力いただきました。

岩上センター長の開会あいさつに続き、祝辞を奥村展三文部科学副大臣、岡崎助一公益財団法人日本体育協会専務理事よりいただきました。祝辞の後、乾杯の音頭をアテネオリンピック、北京オリンピックで活躍された体操の富田洋之氏にお願いし、開始されました。また、現役トップアスリートとして、JISSに練

習拠点を置く新体操フェアリージャパンPOLA（遠藤由華さん・田中琴乃さん・サイド横田仁奈さん・畠山愛理さん・松原梨恵さん・三浦莉奈さん・深瀬菜月さん）と、競泳の各選手（平井伯昌コーチ・入江陵介さん・寺川綾さん・上田春佳さん・加藤ゆかさん・中村礼子さん）に登壇いただきました。フェアリージャパンPOLA、競泳の各選手のみならずは、この懇親の夕べの直前まで練習をされていたが、多忙な合間を縫って会に駆けつけてくださり、ロンドンオリンピックへ向けての抱負や意気込みを語っていただきました。トップアスリートの登壇で、大いに華を添えていただきました。

また、当日出席いただけなかった選手（競泳松田丈志さん・久世由美子コーチ・アルペンスキー皆川健太郎さん・陸上朝原宣治さん・バドミントン潮田玲子さん）からいただいたお祝いの言葉をビデオレターとして放映しました。

最後に、懇親の夕べの閉会に際し、JOC強化本部長であり、全日本柔道連盟会長の上村春樹氏からごあいさつをいただきました。1時間余りの短い懇親の会ではありませんでしたが、多くのご来賓からのごあいさつを賜り、JISSスタッフの一員として身の引き締まる思いでした。

設立までの経緯や開所後の10年間、私たちJISSは、さまざまな問題・課題を乗り越え、時代の変化

や急速な国際競技力の進歩・変化に対応してまいりました。これからの10年間、アジアをはじめ世界各国のスポーツにおける国際競技力の勢力図がどのように変化するか未知数はありますが、その時々々のニーズを的確に把握し、チームジャパンが世界の強豪国と比肩できるチカラを保持できるよう尽力することをあらためて誓う、特別な節目の年となりました。

この10周年記念式典・懇親の夕べを実施するにあたり、文部科学省をはじめ多くの関係者・団体の皆様にご協力いただきましたことに感謝申し上げますとともに、ここにご報告いたします。



新体操フェアリージャパン



国立競技場

- 第91回天皇杯全日本サッカー選手権大会 決勝／
第33回全日本女子サッカー選手権大会 決勝 1/1
- 第48回全国大学ラグビーフットボール選手権大会 準決勝 1/2
- 第20回全日本大学女子サッカー選手権大会 決勝／
第60回全日本大学サッカー選手権大会 決勝 1/5
- 第90回全国高等学校サッカー選手権大会 準決勝 1/7
- 第48回全国大学ラグビーフットボール選手権大会 決勝 1/8
- 第90回全国高等学校サッカー選手権大会 決勝 1/9

※1月中旬より3月下旬まで、トラック走路改修工事を実施しています。
日頃よりご利用いただいている皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力をよろしくお祈いします。

秩父宮ラグビー場

- トップチャレンジ2 第2節
イースト2位 vs 九州2位 1/3
- トップチャレンジ1 第3節
ウエスト1位 vs トップチャレンジ2・1位／
イースト1位 vs キュウシュウ1位 2/11
- ジャパンラグビートップリーグ
ホンダ vs 東芝／サントリー vs NEC 1/9
リコー vs NTTコミュニケーションズ／
サントリー vs 近鉄 1/15
NEC vs コカ・コーラウエスト／
サントリー vs 東芝 1/22
NTTコミュニケーションズ vs ホンダ／
NEC vs NTTドコモ 1/28
リコー vs 東芝 1/29
サントリー vs 神戸製鋼／
東芝 vs パナソニック 2/5
- 第19回全国クラブラグビーフットボール大会
決勝 1/29

スケジュールは変更になる場合がありますので、ホームページ等で必ずご確認ください。

<http://www.naash.go.jp>

代々木競技場第一体育館

- 第87回天皇杯・第78回皇后杯
全日本バスケットボール選手権大会 1/3～9
- * 木下グループ STARS ON ICE JAPAN TOUR 2012
1/14～15
- 25th Anniversary
TOSHINOBU KUBOTA "Party ain't A Party!"
1/21～22
- * KISS ~Korean International Style Show~ 1/25～27
- * 第22回 全日本高等学校チアリーディング選手権大会
1/28～29

※改修工事のため、2/1～3/14の開催行事はございません。
日頃よりご利用いただいている皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力をよろしくお祈いします。

代々木競技場第二体育館

- 第87回天皇杯・第78回皇后杯
全日本バスケットボール選手権大会 1/3～4
- * 第11回全国武道空手交流大会 1/9
- * Dance Drill Winter Cup 2012 1/14
- JBL 2011-2012 1/20～21、27～28

※改修工事のため、2/1～3/14の開催行事はございません。
日頃よりご利用いただいている皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力をよろしくお祈いします。

西が丘サッカー場

- 第90回全国高等学校サッカー選手権大会 1/2
- 第20回全日本大学女子サッカー選手権大会 1/3
- 第45回北区少年少女サッカー大会 1/15
- JFAキッズ(U-6)サッカーフェスティバル2011 東京 1/29
- 第3回東京都クラブユース(U-17)サッカー選手権大会 2/11
- 第5回東京都キッズ(U-6)サッカー大会 2/12
- 第18回東京都クラブユースサッカー(U-14)選手権大会 2/18
- JFAレディースサッカーフェスティバル2011 東京 2/19
- 平成24年度関東大学サッカーオープニングフェスティバル 2/26

- 陸上競技
- ラグビー
- コンサート
- バレーボール
- サッカー
- バスケットボール
- 卓球
- * その他

- 国立競技場 (☎ 03-3403-1151)
- 秩父宮ラグビー場 (☎ 03-3401-3881)
- 国立代々木競技場 (☎ 03-3468-1171)
- 西が丘サッカー場 (☎ 03-5963-0203)

編集後記

新年が始まるとすぐに、天皇杯サッカーをはじめ様々なスポーツがテレビを賑わしますが、中でも私が毎年楽しみにしているのが、正月2日・3日に行われる「箱根駅伝」です。今年も区間記録更新やゴボウ抜きをするスター選手が現れるのか、翌年のシード権争いはどうなるか。また、繰り上げスケートの危機や突然の身体の異常で無事に棒(たすき)が繋げられるのかという場面が来たりすると、見ている方も手に汗を握る状態で、画面から目が離せなくなります。

駅伝は孤独な戦いのように見えますが、チームプレイです。一緒に練習してきた仲間のことを思い、体力の限界まで走るため、中継所では倒れ込む選手も多い。力の限りを尽くし、棒を仲間繋ぐ。そこに駅伝の美しさと感動があります。走り終えた後のインタビューで、仲間を思うコメントと彼らの涙を見せると、もらい泣きは確実。新年最初の感動は、いつも箱根駅伝で始まります。(H)

国立競技場 第589号

2012年1月1日発行(隔月発行)

[編集・発行]

独立行政法人

日本スポーツ振興センター

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町10番2号
tel (03)3403-4151 (運営調整課)

[編集・発行人]
堀部 定男